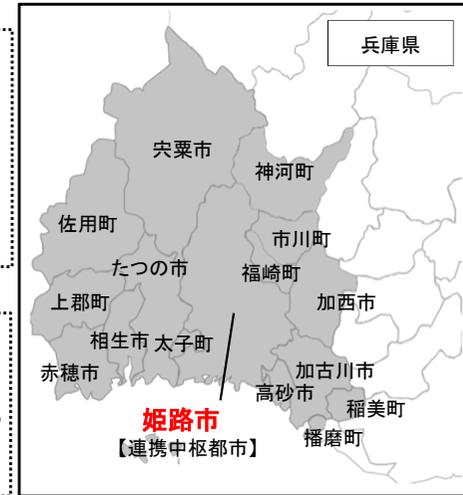


# 播磨圏域連携中枢都市圏の取組

## 圏域形成に至った経緯

- 旧播磨国に位置する市町が団結し平成24年に播磨広域連携協議会が発足。姫路市が同協議会構成市町に「新たな広域連携モデル構築事業」への参加を呼びかけ、平成26年に近隣の7市8町が参加を表明した。
- 姫路市が、「新たな広域連携モデル構築事業」モデル都市に選定され、播磨圏域経済成長戦略会議等の開催を重ね、平成27年4月には、うち6市8町と連携協約を締結し、播磨圏域都市圏ビジョンを策定した。
- 平成27年12月には、残り1市と連携協約を締結した(8市8町での形成)。



## 今後の展開

- 市町間連携バス路線等について検討し、圏域内における公共交通の利便性の向上を図る。
- 市町の個別施設計画の策定状況や推進体制、施設の最適配置等にかかる検討状況を共有し、公共施設の適正管理を図る。
- 市町の専門人材(医療、福祉、ICT、土木、建築分野等)の需給を把握し、人材の確保、育成、融通について検討する。

## 圏域全体の経済成長のけん引

### 企業誘致の推進

圏域への企業誘致を促進し、圏域の産業振興、雇用確保を図るため、企業の圏域内への投資意向に関するアンケート調査及び広域企業誘致パンフレットの作成等を行う。

【臨海部に集積する企業群】



### 起業・創業・事業承継支援

圏域を対象に創業者相談窓口を設置し、セミナー開催、創業機運醸成、事業承継支援等に取り組む。新たに、兵庫県と共同で「起業プラザひょうご姫路」を設置し起業家の成長を促す。【ひめじ創業ステーション】



### 播磨地域ブランドの確立

播磨の風土を起点に、付加価値化できる戦略品目の種を播き、地域ブランド資産として磨き上げ、「醸造といえば播磨」を目指す「醸す・造る・播磨」プロジェクトに取り組む。



【ブランドロゴ】

### 圏域の観光動向の把握【新規】

圏域内における観光客の滞在日数の増加や、回遊性の向上など、より効果的な観光施策を推進するため、圏域内の観光動向について把握等を行う。

## 高次の都市機能の集積・強化

### 姫路駅周辺整備事業の推進

姫路駅周辺の鉄道操車場等跡地を活用し、商業施設、宿泊施設、医療専門学校等を誘致。さらに、文化ホール、会議室、展示場を備えた交流拠点施設の整備を進めている。

【姫路市文化コンベンションセンター】



## 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

### 救急搬送支援システムの広域化【新規】

受入れ医療機関を広域的に確保することにより、搬送困難症例等の解消や搬送に要する時間の縮減を図ることができる救急搬送支援システムを圏域で共同運用する。

【救急搬送システムイメージ】



### 公共施設マネジメントの推進【新規】

圏域内の公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進と保有量の最適化、財政負担の軽減・平準化を図るため、圏域内の公共施設の情報共有を図る。

### 若年者等の就業支援

関係機関と連携し、若者サポートステーション事業や、合同就職説明会を共同開催するなど、圏域内の若者から高齢者まで幅広い方の就労・活用につながる各種就労支援事業を実施する。